

# プールの新しい一歩に

ヤマハFRPアクウォーク

## 製造部 技術グループ インタビュー

1 多様化するプールにマッチする技術と思想

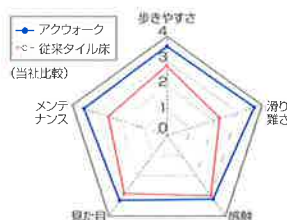
ヤマハプール事業推進部は、事業開始以来30年にわたってプール施設の向上に努めてきました。「安全」と環境の両立を基本理念に、プール本体から、その周辺商品であるシャワーユニットやコースロープ収納ボックスなどを開発し、プール環境をトータルに提案しています。それらはヤマハ発動機が世界に誇る技術であり、ベースには、オートバイや、ボートでの経験を含めたFRPの特性を活かしたもののづくり思想があるのです。また技術革新と同時に、昨今プールに求められる「安全性」、「快適性」、「耐震性」への配慮にも力を注ぎながら、多様化するニーズにマッチした愛されるプール環境を表現したいと考えています。

2 滑りにくく、歩きやすいプールを目指す

空前の健康ブームの到来により、アクアビクスや水中歩行のように「泳ぐ→歩く」という運動スタイルが取り入れられるようになると、プールの使われ方にも大きな変化が起こりました。そこで2008年4月頃から開発がはじまり、誕生したのが「アクウォーク」です。水中で快適に歩くことができるよう、滑りにくく歩きやすいプールを目指し、床面にレザーバターン模様をほどこし、適度に摩擦抵抗をつけることで滑りにくくし、①踏ん張りが効く歩きやすい床面②肌に触れるレザーの風合いへのこだわり③見た目の美しさを重視し、凹凸の陰影を活かした高いデザイン性を実現しました。FRP素材ならではの優れた「成形性」が十分に活かされています。

3 品質のすべてをトップメーカーの視点で

「従来タイル床」と「FRP床」を比較したテストやアンケートによれば、滑り難さ、感触、見た目、メンテナンス、歩きやすさの5項目すべてで、タイル床を上回る数値結果が得られました。なかでも「滑り難さ」と「歩きやすさ」と「メンテナンス」の評価が高くなっています。また凹凸により、足指がひらくことで運動効率が向上するなど、さまざまなプラス要因も期待されています。これらの研究開発された商品も、社会に出す際に一番大切なことは安定した品質で、目的とする機能を発揮することです。そのため当社のFRP生産工場では、品質保証グループによる徹底した管理が行われているのです。



### 新歩行床のコンセプト

- 滑りにくい
- 摩擦抵抗があり足裏と床がフィットする
- 歩きやすい
- 踏ん張りが効く
- 自然な感覚
- 裸足でも違和感なく運動や歩行ができる
- 美しいデザイン
- 入水前にプールを見た時に美しく安心できる



試行錯誤しながらデザインが検討された。



製造部 技術グループ 洲崎隆幸

私も仕事の帰り、週に1、2回近くのプールを利用しています。そのプールはタイル製プールで、年配の人はほとんどが水中歩行をしています。私も歩いたのですが、かなり滑るし滑ると歩き方も摺り足になります。足を持ち上げた歩き方をできないわけですから、効果的な運動ができていないんだと思います。「歩きやすいプール」というこれまで無かった発想は実にヤマハラしい商品です。このフロアのようにこれからも常に一步先のプール商品を提供し、よい意味でユーザーを裏切りたいと思いますね。



品質保証グループ (左から、中島、新村、一番右が辻村)